

開通区間概要(山県IC～本巣IC間)

別紙1

●東海環状自動車道は、愛知・岐阜・三重3県の各都市を環状に連結し、東名高速道路・名神高速道路・新東名高速道路・新名神高速道路など一体となって、広域的なネットワークを形成する延長約153kmの高規格道路です。

今回の開通(11.9km)により、開通延長が127.8※km(約8割)となりました。

※いなべIC～大安ICの開通(6.5km)を含む

●今回開通したIC・PAの所在地

所在地	ぎふ ぎふ ぎふ だいがくきた 岐阜IC(岐阜県岐阜市大学北)
	もとす ぎふ もとす かみのほ 本巣IC(岐阜県本巣市上保)

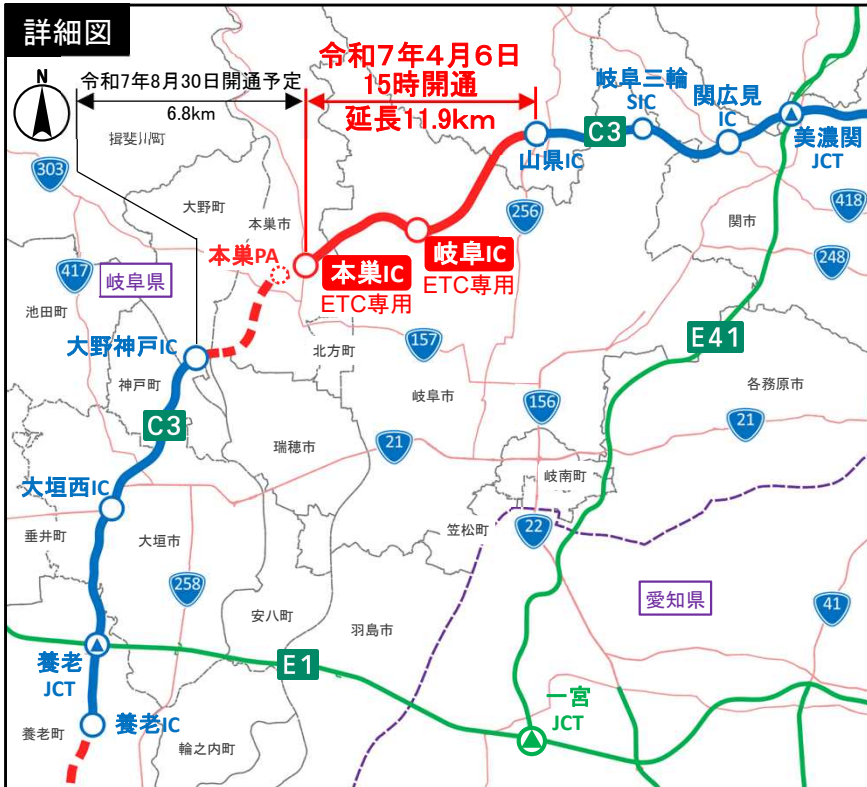
※岐阜IC及び本巣ICはETC専用料金所です。

●今回開通区間の概要

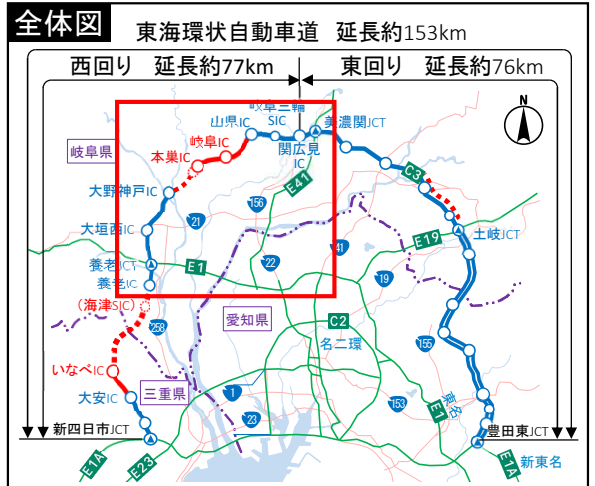
路線名	一般国道475号 とうかいかんじょう 東海環状自動車道
開通区間	やまがた ぎふ やまがた にしふかせ もとす ぎふ もとす かみのほ 山県IC(岐阜県山県市西深瀬)～本巣IC(岐阜県本巣市上保)
延長/車線数	11.9km / 暫定2車線

今回開通区間の位置図・状況

詳細図



全体図



凡 例

- 東海環状自動車道(事業中)
- 東海環状自動車道(開通済)
- 東海環状自動車道(今回開通区間)
- その他の高速道路
- 主な国道

() 書きのIC名称は仮称



令和7年4月6日
開通セレモニー・パレードの様子

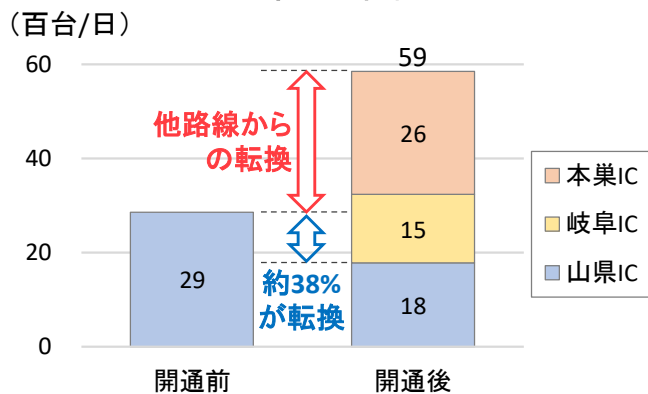
- 山県ICの出入交通量の約4割が岐阜IC・本巣ICへ**転換**。
- 山県IC～本巣IC付近(国道157号)間の移動の約9割が東海環状道利用に。
- 国道256号(西深瀬)の交通量が約4割減少、県道78号(文殊西)では微減。

■山県IC～本巣IC間の利用経路の転換例

山県IC⇒岐阜IC・本巣ICへ
並行一般道⇒東海環状自動車道へ
交通の一部が転換

■IC出入交通量の転換

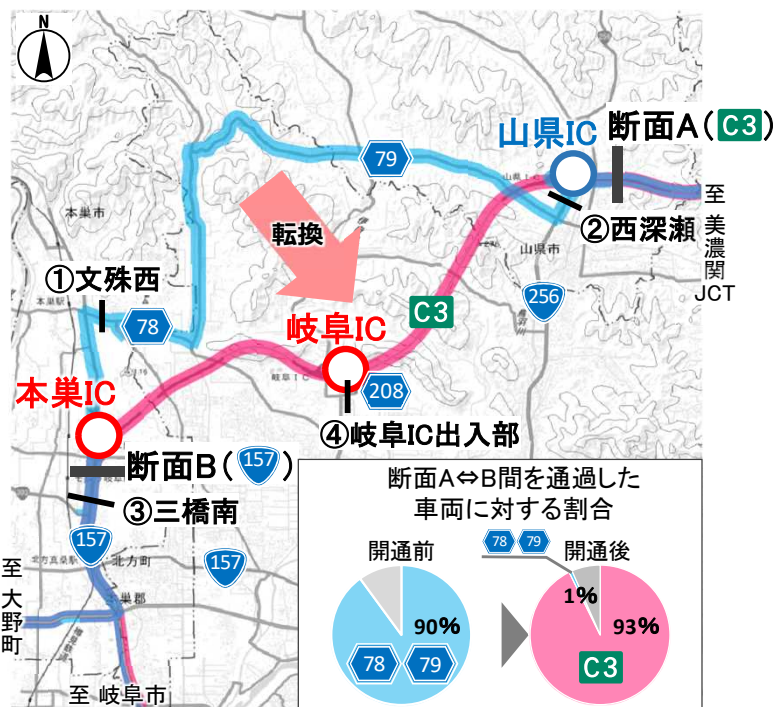
<山県IC～本巣IC>



出典: NEXCO中日本提供データ

開通前 令和6年4月9日(火)～令和6年6月1日(土)

開通後 令和7年4月8日(火)～令和7年5月31日(土)



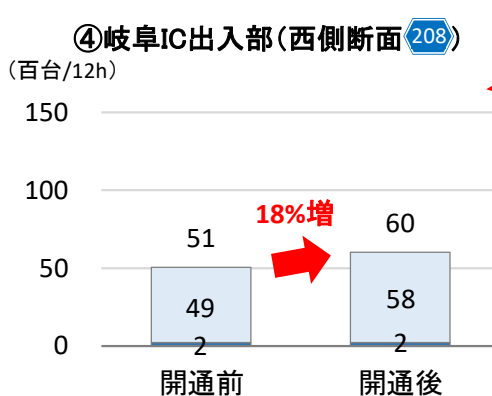
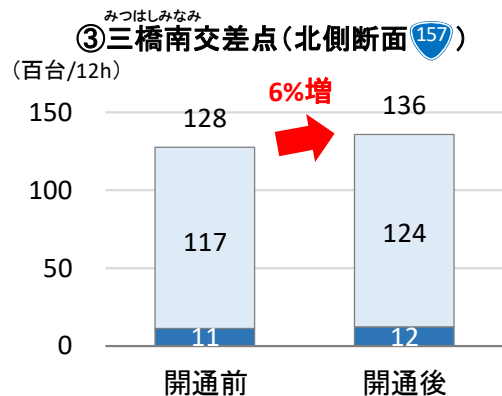
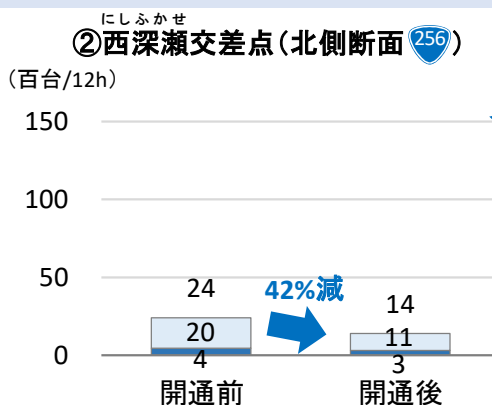
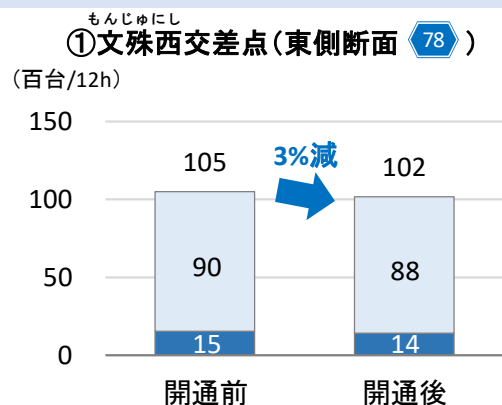
出典: ETC2.0プローブ情報: 1回の移動で断面A,Bの両断面を通過した車両数を経路ごとに集計し、サンプル数5%以上の経路を図化

開通前: 令和6年4月22日(月)～5月21日(火)

開通後: 令和7年4月21日(月)～5月20日(火)

背景地図は地理院タイルを使用

山県IC～本巣IC周辺一般道の交通量変化



①山県IC～本巣IC
並行一般道で微減
②山県IC出入部で減少

③④本巣IC、岐阜IC
周辺一般道で増加

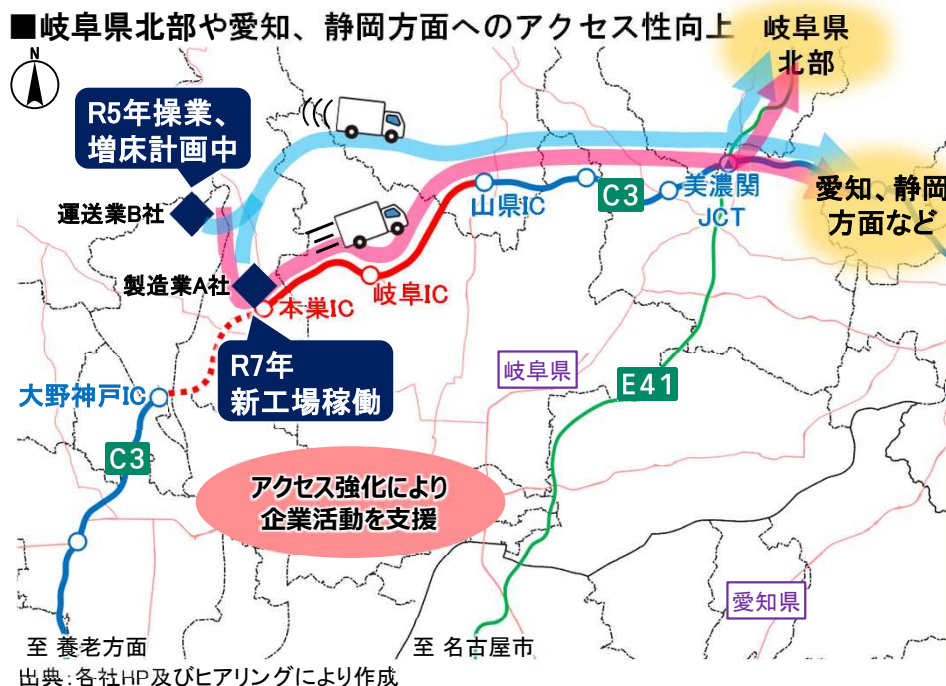
出典: 国土交通省 交通量調査結果

開通前: 令和7年3月6日(木)

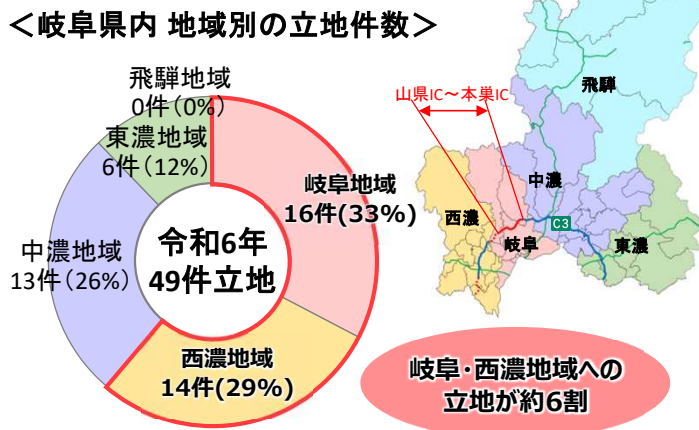
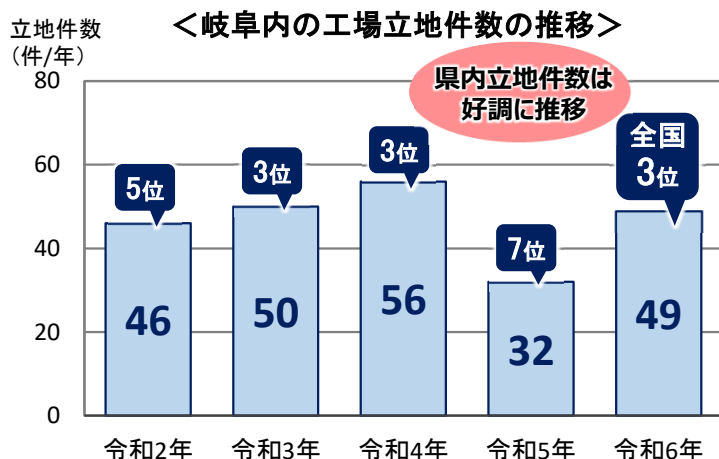
開通後: 令和7年5月13日(火)

- 本巣IC開通により、岐阜県北部・愛知・静岡方面への**広域アクセスが充実**。
- 沿線では工場等の新設や増設が活発化するとともに、本巣IC利用による**時間短縮効果(約20分)**により、**コスト軽減**や運転時の**疲労軽減**に寄与。

高速道路ICがより身近になり企業活動を支援



■岐阜県の好調な工場立地動向



出典:岐阜県 2024年(1～12月)工場立地動向調査結果

《本巣市内の製造業A社の声》

- ・開通前は山県ICを利用していましたが、本巣ICが開通したことにより、週2回の高山方面への往復移動、毎日の豊田方面への移動で、**時間短縮**が図れています。
- ・通行料金は多少増えますが、**時間外作業費用が抑えられ、トータルでのメリットは大きい**と考えています。
- ・また、下道を走る距離が短くなり、**運転時の疲労が軽減**されていると感じます。

《大野町内の運送業B社の声》

- ・愛知県瀬戸市や静岡県方面への輸送で豊田東JCTまで東海環状自動車道を利用しています。本巣ICを利用することで、**移動時間が短縮し、アクセスが良くなりました**。
- ・開通前の経路では、対向車とのすれ違い時に平積みの商品が傷つかないように、一時停止など慎重な運転が必要でしたが、開通により解消され**安全性が向上**しました。

出典:国土交通省ヒアリング調査(令和7年5・6月)



- 岐阜ICの利用により、岐阜大学医学部附属病院への搬送時間が約9分短縮され、より迅速で安定した救急搬送が可能に。
- 運転手や患者の負担の軽減や車中隊員による処置への専念に寄与。

高度救命救急センターへのアクセス性が向上

■山県IC～岐阜ICを利用した救急搬送実績



<ICからのアクセス向上>



凡例

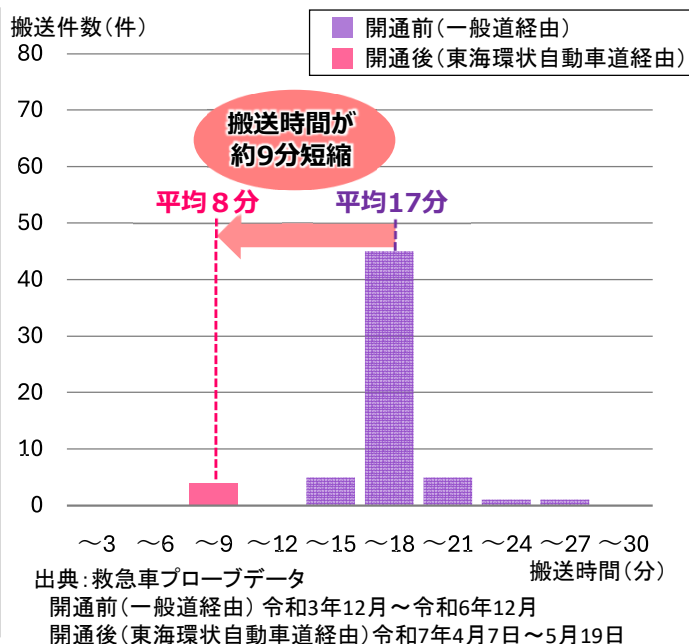
- : 搬送開始地域
- : 消防署
- : 岐阜大学医学部附属病院
- : 救急搬送ルート

出典: 救急車プローブデータ(令和7年4月7日～5月19日)
※岐阜大学医学部附属病院にアクセスしたトリップを集計

■山県IC→岐阜大学医学部附属病院の所要時間の変化



<山県ICからの搬送時間の短縮>



《岐阜市消防本部、岐阜北消防署 三輪分署の声》

- ・搬送時間に遅れが生じることが想定される場合や、現場がIC周辺の場合、緊急度が高く早期に搬送が必要と考えられる場合、**安静に搬送**したい場合に、東海環状自動車道を利用しています。
- ・安定した走行ができ、車両の**揺れが抑えられる**ため、患者にかかる**負担が軽減**できます。



出典: 国土交通省ヒアリング調査(令和7年6月)